

# プラスファ通信



今月のテーマ

## 「進化」と「絶滅」は表裏一体！？

本日4月1日に予定通りに新元号「令和」が発表されました。実際に令和元年がスタートするのは5月1日からなので、まだちょっとありますが、なんだか今からワクワクする感じがしますね！

先日、子供が祖母より頂いた本と一緒に読んでいたのですが、とても興味深かったので共有します。ベストセラーになった「ざんねんな生き物図鑑」シリーズの中に、「わけあって絶滅しました」(ダイヤモンド社)という本があります。これを読んでみるとなかなか興味深い。内容としては、わけあって絶滅していった生き物について、その「わけ」を面白おかしく説明している図鑑です。

中で紹介されている生き物で、「オオツノジカ」という生き物がいました。このオオツノジカは、進化の過程で、他のオスとの戦いの中で強い角を誇示するために、体のわりに大きな角を手に入れました。しかしながら、このオオツノジカは、あろうことかその大きな角にカルシウム等の栄養を取られすぎてしまい、体中の骨がスカスカになってしまった結果、絶滅してしまったというのです。なんともお粗末なお話ではありますが、私はこのオオツノジカをむやみには笑えません。きっとこのオオツノジカの角が大きくなり始めたときは、周りのシカよりも大きな角を誇示し、それなりのポジションを築いていた時代もあったと想像します。しかしながら、さらに上を上を目指したオオツノジカは、本来の姿を見失い絶滅したのでしょうか。

私たち中小企業経営者も、自らの判断でいくつもの選択肢を決断し、前に進む毎日です。その決断が誤っているか否かは将来の自分にしかわかりません。その角を大きくするという決断に対して、いったい誰が将来その角に栄養を取られすぎてしまうなんて想像したのでしょうか。

「進化」と「絶滅」は表裏一体です。そのことを理解したうえで、それでも私たち経営者は、現状に甘んじることなく前に進まなければなりません。なんとも孤独ですね(笑)

「進化論」を唱えたダーウィンが言います。「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一生き残るのは、変化できる者である。」と。(実際のところ、ダーウィンがこの言葉を言ったわけではなく、その弟子たちがいい感じに解釈して広めたという説もありますが)

将来、私たちが下した決断が「進化」であったと図鑑に書いてもらえると信じて、4月以降も邁進するのみですよ！



## 仕事と人生の方程式

私の好きな経営哲学の本に、有名な稲盛和夫さんの「生き方」があります。最近、稲盛さんが導入した京セラの「アメーバ経営」らしいことをお客様の会社へ導入するお手伝いがあり、そこから派生して久しぶりに稲盛さんの経営哲学の本を手に取りました。その中で、私がとてもすてきだなと思う人生哲学、仕事哲学があるので、これまた紹介します。

「人生・仕事の結果 = 考え方 × 熱意 × 能力」

というものです。人生や仕事の結果は、これら3つの要素の足し算ではなく、掛け算で得られるものであるということ。だからそれぞれの要素を高めていかないと、いい結果は生まれてこない。そして何より一番重要なのが、このうち「考え方」。ほかの2つの要素は0~100点までのプラス点しかないのに対し、「考え方」はマイナス点もあるということ。だから「考え方」がマイナスの人は、どんなに「熱意」もあり「能力」が優秀でも、掛け算なのでむしろマイナスに大きく作用してしまう。この「考え方」をプラスに向けられる人こそが成功する人となると説きます。

ふとしたことで仕事でも私生活でも、マイナス思考になってしまいそうとき、この言葉を思い出すようにしています。

## 弊社住所のビル名が変わります(ご迷惑をおかけします。。)

弊社のビルが三井生命のビルだったのですが、三井グループの4月1日の統廃合の都合上、三井生命ビルから大樹生命ビルに変更になりましたのでご案内いたします。

(旧)住所: 東京都国分寺市本町2-12-2 三井生命国分寺ビル6F

(新)住所: 東京都国分寺市本町2-12-2 **大樹**生命国分寺ビル6F